

収蔵庫はタイムカプセル

博物館には、収集した資料を収めている収蔵庫があり、3万5000件を超える資料があります。

資料の収集・保存は博物館の重要な役割の一つです。収蔵品の多くは市民の皆さんから寄贈を受けた貴重な資料で、古い物では縄文時代の石器や土器、新しい物では昭和の生活用品などさまざま。収蔵庫は、かつてこの



皆さんが見学する展示室の上の階に、収蔵庫があります

地域に生きた人々の暮らしを支えた品々が、時空を超えて同居している不思議な空間で、昔の様子を知ることができる貴重な宝庫です。

年に1回開催される収蔵

昭和30年代に使われていたテレビ(右)と、船の動力や田の用水のくみ上げなどに使われていた焼玉エンジン(下)



品展では、これらの一部を見ることが出来ます。今年は7月20日(土)〜9月8日(日)。詳しくは、広報川越・市ホームページでお知らせします。

農のある暮らし 14 タケノコ

農政課 ☎224-5939

春の味覚を代表するタケノコ。「古事記」に登場していることから、日本では古くから食べられていたようです。食用として食べられているのは、主に孟宗竹、淡竹、真竹などの種類です。

朝採りしたタケノコを伊佐沼農産物直売所とあぐれっしゅ川越に出荷している岸田貴美子さん(天沼新田)。多い時には、100本以上も収穫するそうで



す。タケノコは鮮度が重要。「1本1本手掘りで取ったタケノコを、新鮮なうちにおいしく食べてほしいですね」。岸田さんの家では、皮をむいたらすぐに水からゆで始め、沸騰する前にぬかを入れ、30分ぐらい煮たら火を止めて1日そのまま置いているそうです。翌日になったら水を入れ替え、冷蔵庫に入れて水を1日に1〜2回取り換えれば、数日持ちます。タケノコの先の部分が黄色いと新鮮でおいしいとか。収穫は5月中旬まで続きます。



「冷凍保存する場合は、味を付けてからの方がいいですよ」と岸田さん



枯れた木を伐採するなどの手入れも怠りません

この森では、川越市民の森クラブの方々がボランティアで清掃を行っています。「きれいでとても気持ちが良い場所です。ベンチもあって、散歩するにはちょうどいいですね」と、近所の人々。市民の森は、みんなの憩いの場になっています。

森の掲示板が、市民の森第8号(大袋)にできました。森の散歩コースの距離や所要時間、ポイントなどが書かれています。草花が芽吹くこれからの季節、ぜひ散策を楽しんでみませんか。



森の掲示板

編集後記

どんぐり